

住民主体のまちづくり

No.19 2015. 6

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 防災安全部の幹事会を開催

防災安全部の中心組織である防災安全推進協議会では、去る5月20日（水）に公民館で、最初の幹事会を行い、米子市が各地区で実施している『認知症徘徊見守り模擬訓練』の説明を受け、車尾地区でも行うことになりました。その訓練の流れを概略に示しますと以下ようになります。

- ① 防災無線による捜索放送。
- ② 放送を聞き住民は、家から一歩出て周囲を確認する。
- ③ 確認後、集合場所に集まって、グループ捜索を開始。
- ④ 発見したら、警察に通報する。
- ⑤ 発見放送が流れる。
- ⑦ 保護の確認後各自、公民館に集合。
- ⑧ 訓練の講評。

また、訓練を実施するに当たり、住民の認知症の理解を深め、訓練の充実を図るため、「認知症サポーター養成講座」を役員及び住民を対象に開催する必要があります。

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです

この講座は、米子市が、住民等を対象に、60～90分の講座を開催し「認知症サポーター」の養成を行います。「認知症サポーター養成講座」の受講者には、認知症サポーターのしるしである「オレンジリング」が配布されます。



■ 健康部の事業「健康ウォーク」を開催

健康部の中心組織である保健推進委員会では、去る6月7日（日）に公民館を出発・帰着で、東山運動公園（どらドラパーク）にある各競技施設を巡る4kmのコースに汗を流した。

東山公園内のコースの順は 市民球場 → 弓道場 → 球技場 → スポーツ広場 → 陸上競技場 → 水泳場 → 市民体育館でした。この事業は、住民の健康づくり活動の一環として行っている恒例行事で、50名以上が参加しました。

参加者は、公民館を出発して通称“国体道路”をとおり市民球場に到着。内野スタンドに上がり球場長から施設について説明を受け、次に弓道場そして球技場と移動してそれぞれに管理者から説明を受け、驚いたり感心したりでした。

参加者からは「車尾地内に、素晴らしい運動公園があり、公園のゴミ拾いなど環境美化に、住民として積極的に行動したいと思います」などの声が上がっていました。



試合のためフィールドに入れなくスタンドで施設の説明を受ける